

# ホスピタウン便り

発行責任者 ホスピタウン事務局  
VOL58 平成22年4月

## 真誠会ローズガーデン開所 希望のバラを咲かせましょう

平成22年4月15日米子市富士見町にリハビリ強化型 通所介護 真誠会ローズガーデン(社会福祉法人真誠会)を開設しました。

医療法人、社会福祉法人真誠会は今まで米子市北部、弓ヶ浜半島を主なエリアとして医療福祉サービスを提供していましたが、実際には米子市街地はもとより米子市南部からの患者様、ご利用者様も多いため、米子市内でのサービスを提供することが長い間のテーマでした。

今回その夢が叶い米子市の中心部で施設を開所することになりました。この施設の特徴は、デイサービスでありながらデイケアに劣らないリハビリ機能をもった施設であることです。そのために独立したリハビリルームにトレーニング機器を備えてあります。

この施設の二階は地域交流スペースとして、各種の趣味の会、料理教室、文化教室などができるようにしてあります。また医療福祉、介護保険など各種の疑問やお困りごとに対する総合的な相談窓口も開設しております。

ローズガーデンの名前の由来は、この施設の周囲の花壇をバラで飾るとともに、ご利用者様の人生の集大成の時期に自分らしいバラの花を咲かせていただきたいという思いで名づけました。確かに人は年を重ねて老いて行くのですが、心の花(バラ) 精神的な花(バラ) を咲かせるという意味です。

真誠会は単に施設をつくるというのではなく、真誠会の施設がそれぞれの地域のなかで新しい精神的な支えになったり、新しい文化的なリーダーシップが取れる場所として貢献するよう努力をしてきました。

今回のローズガーデンも、単にリハビリ施設ではなく、地域の皆様の心の支えであったり駆け込み寺であったり、灯台であったり、いろいろな役割で地域の皆様に貢献し、一人一人の心にそして地域に大きな希望のバラを咲かせたいと思います。



社会福祉法人 真誠会  
医療法人 真誠会  
理事長 小田 貢

# リハビリ強化型 通所介護 真誠会ローズガーデン

1日利用者  
定員30名

平成22年  
4月15日開所

ホテル仕様のインテリア  
モダンで、おしゃれ  
新しい形の  
デイサービスを  
提供します

## 活動プログラム

- ◆脳活性プログラム  
生活リハビリテーション、読み書き計算、回想、パソコンでの能力トレーニングなど
- ◆各種レクリエーション  
卓球、散歩、Wii、創作活動などなど豊富なメニューをそろえております。

## ご利用時間帯

当施設は、ケアプランに基づき、ご利用者様に合った時間帯で利用して頂くことができます。効率的、効果的にリハビリテーションを行うため、短期間の利用をご希望のご利用者様には、相談に応じて対応させていただきますので、ご相談ください。

### ●営業時間

9時～18時

### ●定休日

- 年末年始  
(12月30日～1月3日)
- 8月14日、15日
- 日曜日

◆健康教室【転倒防止、膝痛、腰痛予防、栄養改善など】  
依頼を募集しております。出張でのサービスも可能です。

◆各種ボランティアを募集しております。

### ◆医療・福祉連携の充実

真誠会の全ての医療・福祉のネットワークを対応させていただきます。  
緊急時の真誠会セントラルクリニックとの連携、訪問看護、訪問リハビリテーション、  
居宅療養管理指導など



## リハビリ強化型デイサービス

- ◆常勤の理学療法士によるご利用者様に合った専門的な個別のリハビリテーションの実施
- ◆健康運動指導士による、予防トレーニングの実施  
(バランスボール、チューブ、エアロビクス等)
- ◆専用のトレーニングルーム完備  
\*その他、生活(運動、栄養)指導も行います。  
\*自宅までお伺いするサービスもご用意しております。



## ご利用料金(参考)

要支援を受けている方(要支援1, 2) \*1ヶ月分

サービス料利用料	
要支援1	2,226円
要支援2	4,353円

+

運動機能向上加算	225円
アクティビティ実施加算	53円
栄養改善加算	150円
口腔機能向上加算	150円
若年性認知症利用者受入加算	240円
サービス提供体制強化加算	24～96円
事業所評価加算	100円

### ○その他費用をいただくもの

- 食費(昼食) 1日当たり600円、日用品 1日当たり200円
- 上記以外にの介護保険給付以外のサービスを必要とされる場合については、ご説明の上、同意を得てその費用の徴収をすることになります。

要介護を受けている方(要介護1～5) \*1日分

サービス料利用料	
要支援1	677円
要支援2	789円
要支援3	901円
要支援4	1,013円
要支援5	1,125円

+

入浴加算	50円
個別機能訓練加算	27～42円
若年性認知症利用者受入加算	60円
サービス提供体制強化加算	6～12円

栄養改善加算	150円/回
口腔機能向上加算	150円/回



### 地域交流スペース (2階)

和室18畳を、地域の皆様の集えるスペースとして提供いたします。

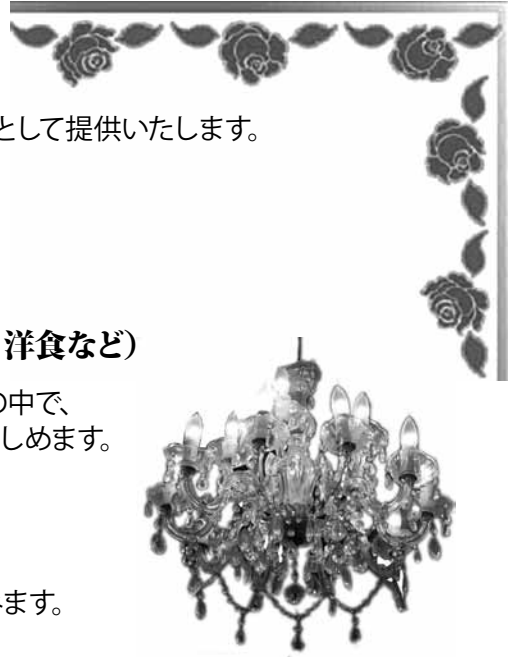
- 各種カルチャー教室として
- 料理教室
- 健康教室など

### 楽しいお食事 (和食・中華・洋食など)

イタリアンレストランに来たような雰囲気の中で、ピザ・グラタン・リゾットなど洋風料理も楽しめます。

### 焼きたてパンの日

ご利用者様と共に、焼きたてパンを楽しみます。



## ◆1日の過ごし方

8:30	送迎
9:30	健康チェック、握手タイム
10:00	入浴、活動プログラム、機能訓練
12:00	食前体操、昼食、口腔ケア
13:30	入浴、活動プログラム、機能訓練
15:00	おやつ、水分補給
16:30	送迎

- |            |                  |
|------------|------------------|
| 【活動プログラム】  | 【機能訓練】           |
| ●運動・移動メニュー | (専門リハビリテーションルーム) |
| ●交流メニュー    | ●運動メニュー          |
| ●脳活性メニュー   | ●学習              |

\*1日の活動メニューは、ご自分で選択して頂けます

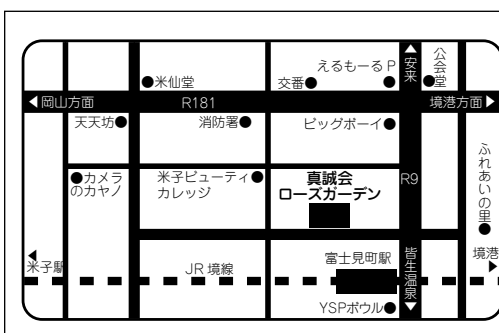
## ◆年間行事予定

4 月	お花見 (桜)
5 月	ゴールデンウィーク企画 バラまつり
6 月	新緑ドライブ
7 月	七夕の夕べ
8 月	夏祭り
9 月	敬老会
10 月	運動会
11 月	文化祭
12 月	クリスマス会
1 月	年末年始企画 新春余芸大会
2 月	節分豆まき
3 月	ひな祭り

**Q. 真誠会ローズガーデンは、どんな人が利用出来ますか？**

**A. 要支援・要介護の方であればどなたでもご利用できます！**

※記載しておりますサービス内容は予定しているもので、開所時変更になる場合もございます。ご了承くださいませ。



現 地 鳥取県米子市富士見町6番地6

営業日  
月曜～土曜

お問い合わせ



リハビリ強化型 通所介護 真誠会ローズガーデン

**TEL.0859-30-2288**



# 真誠会ローズガーデン 竣工式&見学会

平成 22 年 4 月 8 日、野坂康夫米子市長はじめ、地元啓成校区の皆様、社会福祉法人真誠会の理事評議員の皆様のご出席のもとに真誠会ローズガーデンの竣工式が行なわれました。

ご出席の皆様はどなたも、今回のような施設が米子の街中にオープンしたことを喜んでくださっているという事を伺っていました。そして、ローズガーデンの開設がまちづくりや中心市街地の福祉の充実に貢献することを期待しているとのことでした。

また、4 月 10 日、11 日は一般へ開放した施設見学会を行いました。開場と同時に沢山の見学の皆さんで込み合いました。

ご来場の皆さんからは、建物の外観、内装、設備について「すばらしい!」と高い評価をいただきました。

特に今回、独立したトレーニングルームは皆さんの注目の的で、「ここで運動をしたい」、「リハビリをしたい」、「家族にリハビリをさせたい」とおっしゃっていました。

また、多くの見学者は二階の地域交流スペースに興味を持たれ、いろいろな文化活動、趣味の集まりに使いたいと述べられていました。

2 日間の施設見学会でしたが、初日は約 200 名、翌日は 100 名の見学者があり大賑わいの見学会になりました。



米子市の中心にバラを咲かせ職員一同、最高のサービスを創りあげていきたいと思ひます!



オープニングはゴスペルオーブさんの歌声で飾りました♪



最新のリハビリ機器を体験していただきました



おいしい焼き立てパンで~す♪



モダンでおしゃれな室内に皆さんひっそり!!

## 岸本公民館松栄学級(高齢者学級) 小田理事長講演会



ユニークなお話しを皆さん笑顔で聴いておられます!

平成 22 年 2 月 18 日真誠会セントラルクリニック小田理事長は岸本公民館で「元気で長生きするために」というタイトルで講演を行いました。参加者は約 60 名で、その殆どは女性でした。

参加者の皆さんは「どうせ難しい話(講演)だろう」と思って最初は緊張気味でしたが、小田理事長のユニークな語り口で次第に場がなごみ、そして最後は、綾小路きみまろばりのジョークで会場の皆さんを爆笑の渦に巻き込みました。

約 2 年前から講演依頼をいただいております。このたび講演会が実現できてよかったと思ひます。



熱弁する小田理事長



# 市民フォーラム

## 第1回 認知症 サミット 鳥取

### 開催のお知らせ

2010年

5月16日

13:00▶16:30

米子コンベンションセンター  
BiG SHiP (小ホール)

参加無料

日本の超高齢化社会の大きな問題の一つに認知症があります。

幸い鳥取県は認知症で日本で指導的立場にある鳥取大学大学院 医学系研究科 保健学専攻病態解析学分野 教授 浦上克哉先生のご努力で各地で認知症の早期発見、予防に関する活動が活発に展開されています。

しかしながらその活動は各種の団体、各自治体などで行なわれており、それぞれが他の団体と交流はあまり行なわれていないのが現状です。

今回、各種の活動団体が、それぞれの領域の枠を超え、いわゆる横断的にダイナミックに意見交換し、それが具体的な刺激、ヒントとして活動に反映されるよう活発な会を開催する時期がきていると思います。

そして今回浦上教授の支援のもと、鳥取県社会福祉協議会の全面的な支援（共催）を得て「市民フォーラム 第1回認知症サミット鳥取」を開催することになりました。

この会には鳥取県、米子市をはじめ、鳥取県薬剤師会、鳥取県看護協会、鳥取県西部歯科医師会、山陰認知症ケア研究会、高齢社会をよくする会米子、認知症のひとと家族の会鳥取県支部、「新老人の会」鳥取支部、新日本海新聞社や読賣新聞、中海テレビ放送からも後援いただけることになりました。

発表は各地区の地域包括支援センター、鳥取県社会福祉協議会に発表いただきますが当日には沢山の皆様の追加発言を中心に、各種の団体の壁を超え、また官民の壁を超えた活発な、活きた意見交換の場になると思います。

そしてこのような意見交換をもとに、鳥取県の各地でさらに認知症に対する認識、早期発見、早期治療、あるいは認知症になっても誰もが、安心して安全に暮らせるまちづくり、あるいはそのためのネットワーク作りが進展して、鳥取県が単に高齢社会先進地ではなく、認知症に対する地域づくりの先進地、情報発信地になることを期待しております。



#### プログラム

13:00～	開 会	開 会 挨拶 来 賓 挨拶
13:15～	基調講演	「認知症検診と予防教室の意義と課題 ～認知症予防のできるまちづくりを目指して」 鳥取大学大学院 医学系研究科 保健学専攻病態解析学分野 教授 浦上克哉先生
13:45～	活動報告	「認知症予防でまちづくり」 琴浦町地域包括支援センター長 兼務 健康福祉課長 小塩 久志氏 「認知症予防の取り組みから安心して暮らせるまちづくりへ」 米子市尚徳地域包括支援センター 主任介護支援専門員 伊藤 道美氏 「住民パワーでまちづくり ～認知症予防ってカッコいい～」 境港市健康長寿課 保健師 田中美津枝氏 「ひとりひとりからまちづくりまで！ ～ネットワークでひろがる支援の可能性～」 米子市弓浜地域包括支援センター 主任介護支援専門員 小坂 一氏 「認知症への取り組みからみてきたもの」 伯耆地域包括支援センター 保健師 有富 千帆氏 「備えあれば憂いなし。上手に制度も使いましょう！」 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 福祉人材部副部長 朝倉 香織氏
15:00～	(休 憩)	
15:10～	ディスカッション	コーディネーター NPO法人がいなネット 理事長 小田 貢氏 コメンテーター 主催者代表 鳥取大学大学院医学系研究科 保健学専攻病態解析学分野 教授 浦上 克哉氏 鳥取短期大学 学長 山田 修平氏 米子市福祉保健部長寿社会課 主幹 荒木美都江氏
16:25～	エンディング	閉 会 挨拶

認知症サミット鳥取事務局 (NPO法人がいなネット事務局)  
〒683-0852 鳥取県米子市河崎580 TEL:0859-29-0099 FAX:0859-24-2249  
E-Mail:secrtry@hospitown.or.jp 担当:磯村・竹下

多くの皆様のご来場を  
お待ちしております！



# 辻田耳鼻咽喉科



## 天気晴朗ナレドモ浪高シ

辻田耳鼻咽喉科  
院長 辻田 哲朗

個人的なことになりますが、ボクの祖父はその昔海軍にいて退役の時は中佐でした。亡くなったのはボクが生まれる 10 年以上前でしたので祖父がどんな人だったかは知る由もありませんが、実家には馬に乗って軍刀を掲げて口髭をはやしていかにも軍人という雰囲気の写真が残っています。NHK で年末に司馬遼太郎の「坂の上の雲」が放送されていますが、ボクの祖父こと辻田什兵衛はその中の主人公の一人の秋山真之とは海軍兵学校の 10 年ちょっと後輩に当たります。だから東郷ターンで有名な日本海海戦の時には祖父はまだ卒業したての駆け出しのペエペエでしたが、水雷艇の乗組員としてこの世紀の海戦に参加しています。この日本海海戦は「坂の上の雲」の中でも後半のハイライトにあたり秋山中佐が発信した「・・・本日、天気晴朗ナレドモ浪高シ」という電報は特に有名です。その時に祖父も同じ空気を吸っていたかと思うとボクにとっては「坂の上の雲」は単なる小説でなく、とても身近な存在としてとらえています。

ボクまだ小さかった頃 5、6 歳だったと思いますが、この日露戦争のことを父から聞かせてもらいその時から東郷ターンのことは知ることになりました。また父からは他にも乃木大将のことも聞かせてもらい、その当時流行った歌がありたしか小学校の教科書にも載ったと思いますが「水師営」という歌です。日本が勝った後ロシアの将軍と日本の乃木大将が会見した場所が水師営という所で、ボクがまだ 5 歳位の頃意味もろくに分からずに、父にこの歌を教わっておかしなことにそれが今でも覚えていて空で最後まで歌えます。最後の歌詞はこんなものです。「昨日の敵は今日の友、語る言葉も打ち解けて・・・」この時の乃木大将は敗軍の敵将に最大限の敬意を払いそれに感激した敵の将軍ステッセルは乃木大将に自分の白馬を贈っています。もっとも司馬遼太郎は乃木大将のことは「坂の上の雲」ではあまりよくは書いていませんが、ともあれ日本はこの日露戦争までは武士道精神がしっかり守られておりとにかく相手をレスペクトした、その為に世界も当時の新興国の日本に一目を置いたと思います。東郷元帥も相手のバルチック艦隊の将軍が負傷を負い佐世保の海軍病院に入院していた時に丁重に見舞っています。余談ですがこの佐世保の海軍病院は名前こそ変わりましたが今でも同じ場所にありボク自身小さい時この病院にに通ったことがあります。ところがこの時を境にして日本は大国ロシアに勝ったことで尊大になってしまい、武士道精神も忘れて破滅の道へと突き進んでしまうのですが、少なくとも当時の明治の軍人は周りからも尊敬の対象であり、ボクの祖父も一応その端くれ位には居たのかなと思うと悪い気はしません。

NHK の「坂の上の雲」はまた年末に放送されます。日本がまだ若く一番元気だった頃の日本がそこにあり、日本人って一体何なのかなと考えさせられます。今「龍馬伝」も放送されていますが、幕末や明治の人たちが一生懸命になって日本を築いてくれたからこそ今の日本の繁栄があるのかな思いながら、年末の「坂の上の雲」を楽しみにしています。





# いえはら歯科



いえはら歯科  
院長 家原 猛

## 25年ぶりの挑戦。

毎年のこととはいえこの季節、暖かい日と寒い日がごろごろ、不安定な天候に体調の維持管理がたいへん。昨年秋から新型のインフルエンザにもしてやられている感じですし、今年は例年以上に花粉症の影響か、ぐずぐずと詰まりまくる鼻と充血した熱っぽい眼の今日この頃。決戦の日は近いというのに。ここ1週間でここまで積み上げた体力を一気に失いはしないか心配でもある。(というのは、3/15)

ついに決戦の日は来た。(3/21)「とっとりマラソン2010」天気予報は春の嵐を予報。早朝米子市を出発、スタート3時間前までに朝食を済ませ、スタート会場でトイレも早めにちゃんと済ませた。曇り空の下、号砲は鳴った。走っている間は意外といい調子だった。30kmくらいまでは、いや残り15kmまでは。鳥取市では黄砂を含んだ冷たい風と雨。時折晴れ間も覗かせるものの、霰も混じった。はじめから30kmからが勝負、と思ってもいた。「坦々と、坦々と」と自分に言い聞かせながら走った。逆風と緩やかな上りが辛かった。35kmが遠かった。歩が前に進まない。悔しい……。気持ちの上では言うようにしてやっとゴールした。制限時間内で完走はできたけれど、逃がしたsub 4が悔しくて、「よろこびも、中くらいなり、おらが春」といった心境。本当に久しぶりのフルマラソン挑戦でそんなに簡単にうまく行くはずもないと言え、そのとおり。今回は・・・と、決意を新たにした。

人並みに自分のできる「健康」と「環境」への配慮はしながら生活しているつもりです。できるだけ自転車を愛用します。ママチャリでは楽しくないから、しっかりこだわりのパパチャリを用意いたしました。クロモリ(クロモリブデン素材)のロードバイクです。乗り心地が極めてよろしい。大八車に荷物を積んで、水溜りの多い凸凹道を往来していた頃から思うと、楽ちんな時代で幸せこの上ない。

スポーツ(運動)は、それなりに(体力に合わせて、怪我をしないように)計画的にトレーニングを重ねていけば、だんだんとそれなりに体ができてきます。千里の道も一歩から、こつ・こつ、こつ・こつです。年齢はほとんど関係ないみたいです。これまで考えも及ばなかった世界が広がってくるようです。(間寛平さんのアースマラソンは究極のチャレンジですよね。)まさに熟年パワー炸裂です。

スポーツに限らず、年甲斐もないなんて思うのはやめましょう。それがおもしろいのです。いやいや、いろいろのステージ(舞台・場面)で炸裂している方をたくさんお見かけします。皆さん本当にお元気で、楽しそうです。始めたもん勝ち、やったもん勝ちです。いろいろやりましょう!何でも楽しいですよ!春が、青春が、やってきます!!



# 平成22年度医療法人・社会福祉法人真誠会入社式

平成 22 年 4 月 1 日医療法人、社会福祉法人真誠会の平成 22 年度新入職員入社式が行なわれました。毎年 10 数名の新入職員が 4 月に入社しておりますが、今回は特に新しい施設、真誠会ローズガーデンの開所にあたり例年より多くの新入職員を採用しました。また、真誠会全体のリハビリテーション部門の増強のためにスタッフを増員したことによります。

これらの新入職員は真誠会理念を主に、約一週間の新人研修を受けてそれぞれの部署に配属されますが、真誠会では就職後もキャリアアップのための充実した教育システムによって、さらなる上級の資格を習得し、本人ひいては真誠会全体の質の向上を図っております。



新入職員を代表して決意を述べました  
(代表 田中春菜さん)

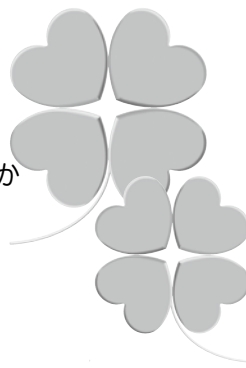


新たな気持ちで  
頑張ります！

## 日野原重明先生 新著紹介

今日も明日も、与えられたいのちを感謝で生き最後に「ありがとう」の言葉と共に、この世を去ることができたら、それは最高の生き方です。

- メメント・モリ“死を想え”
- 「われわれはどこから来たのか われわれは何者が  
われわれはどこへ行くのか」
- 「葉っぱのフレディ」が教えてくれること
- 私は病人の気持ちをどうして理解できるようになったか
- 体験することでいのちのありがたさを知る
- 子どもにとっての死
- 若いときから老いへの備えを
- 家族や親しかった友との別れの中での悲劇
- がんの告知について(インフォームド・コンセント)
- 人間の死の分類“病死、事故死、天災死、殺人、戦争死、自殺死”〔ほか〕



メメント・モリ(死を想え)  
一死を見つめ、今を生きる

日野原 重明先生【著】  
価格/999円(税込)

### 98歳のメッセージ

- ◎いのちが有限であることは、大人はもちろんのこと、子どもにも教えることは人間の成長に必要なことです。
- ◎私は「よど号ハイジャック事件」に遭遇して以後、人に捧げる生き方に舵を切り替えました。以来、98歳の現在まで、道は開かれ続けています。
- ◎人生は山あり谷あり、ハプニングの連続です。いつ寿命が絶たれるかしれません。避けられない死をどうよく受け取るかということは、人生の中で一番大切なことです。
- ◎生活習慣病を招く生活をあらため、心身の健康維持に努めることは大事です。それと同時に、死をいつも念頭に置くことで人生は一層輝くのです。

真誠会の理念は「日野原イズム」「全人的な医療」を基本とし、  
医療福祉サービスを行っています！



# 時代が求める人づくり

平成 22 年初頭から、これまでの「教育委員会」から「人材(財)育成プロジェクト」と改名しました。

少子高齢化時代の到来、急速な高齢化の進展による医療・介護サービスに対するニーズの増大、サービス提供体制の変革期における医療・介護の連携、医療・介護人材の需要と供給、顧客意識の変化など、時代が医療・介護人材に関して希求する要件は増大してきています。

そして、さまざまな環境変化で医療・介護サービスの質が問われており、そのケアサービスを高めるための人材育成は経営上最重要課題と言えます。

すなわち、優れたケアサービスを提供しつづけるために、チームケアを構成するそれぞれの専門職の専門的知識・技術はもとより、チームとしての行動指針、バックアップするための教育体制(人的資源管理)を組織の特徴として一段と強化する必要が生じてきました。

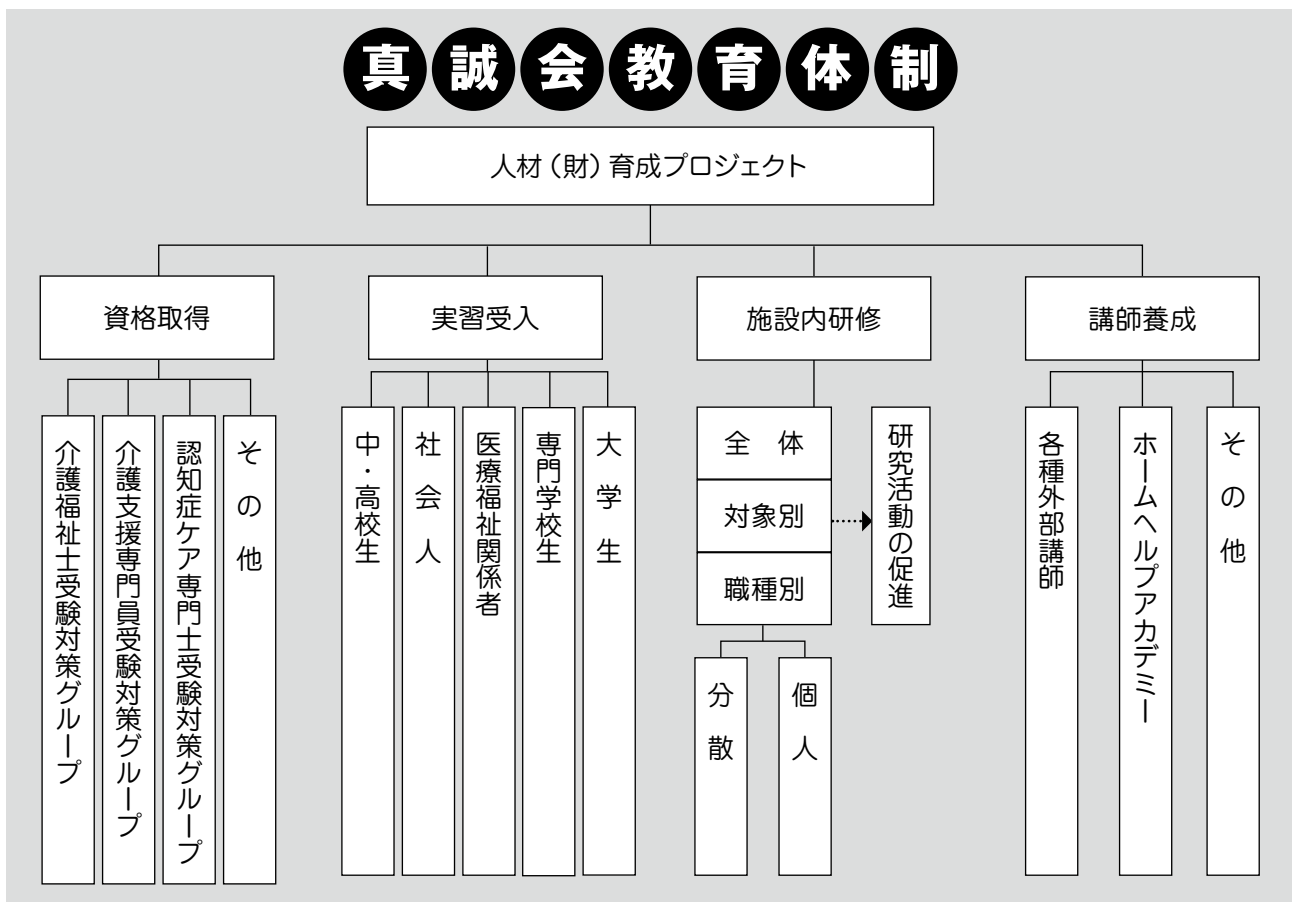
また、未来の医療・介護人材に寄せる期待も大きく、学生の実習環境の体制整備も必要不可欠なこととなりました。これらを受けて人材(財)育成プロジェクトでは次のような体制を構築し本格的な活動を展開しています。



看護介護統括部長  
人材(財)育成プロジェクト委員長  
森本 靖子

**目的:** 内外の人材育成を総合的、効率的、系統的に行う為に、人材育成に関する PDCA の推進を図る。

- 目標:**
1. 各種資格取得支援、キャリアアップ支援(介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士他)
  2. 施設内研修の効率化(全体集合研修、対象別研修、職種別研修他)
  3. 実習受入環境整備
  4. 内外講師役割の効率化
  5. 分散教育への関与
  6. 個人目標管理(目標管理シートの活用)  
(キャリアパス、キャリアラダーの活用)  
(キャリアデザインシートの活用)



## 就任のご挨拶



介護老人福祉施設ピースポート  
施設長 矢倉 敏久

平成 22 年 3 月末に米子市役所を退職して、4 月 1 日からピースポートの施設長をさせていただくことになりました矢倉敏久と申します。新人研修で最初に学んだことですが、真誠会の理念は「愛」と「謙虚さ」です。言いかえれば、利用者様お一人お一人の「人権を尊重すること」、「人格を尊重すること」だと思います。利用者様のご意思やご希望を十分に理解し、それに応えようとする事は、社会福祉法人としては当然のことでしょう。しかし、全ての職員がそれを日々実践することは、そう簡単ではないと思います。真誠会は、「愛」と「謙虚さ」を基本に、常に利用者様の声に耳を傾け、ご希望をかなえて差し上げるため、職員の教育を徹底して行っています。私はまだ新米で、前任の藤本施設長に遠く及びませんが、少しでも早く皆様のお役に立てますよう勉強中です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



真誠会セントラルクリニック  
看護師長 椿 久美子

長年、鳥取大学病院で勤務してきましたが、このたび縁がありこちらの病院で師長として勤務することになりました、椿 久美子です。何分わからないことだらけだと思いますが宜しくお願いいたします。

まずは自己紹介をしたいと思います。家族は夫と 10 歳になる白黒の猫 1 匹です。趣味は読書、最近ハマっているのは「坂の上の雲」時間がなくて長編ものはなかなか手が出なかったのですが、これはハマりました。明治時代の一途さがよく出ていて何度も読み直しました。

師長としての抱負ですが、20 年以上がん看護にかかわり続け、最後の 2 年間はがんセンターで外来化学療法室に勤務しながら、緩和ケアチームの看護師として多職種の方々とカンファレンスを重ね、「今この患者様に何が必要か、優先課題は何か」ということを考えながら看護を行ってきました。がん患者様でなくても「今この患者様に何が必要か」という視点を大切にしたい看護を行っていきたくと思っています。一人一人の患者様とじっくり向き合い、「あなたに看護してもらって良かった」と言ってもらえる看護ができれば、看護師一人一人の達成感にもつながるのではないかと考えています。皆様からの助言、サポートをいただきながら頑張っていきたいと考えていますので、宜しくお願いいたします。

## 新 CT 機器 デジタルレントゲン 撮影器導入

真誠会セントラルクリニックの CT、レントゲン撮影器が時代の流れ、技術革新、カルテの電子化（デジタル化）によって陳腐化してきたので、平成 22 年 4 月にまずは CT を新しいものにとり換え、5 月の連休中にはレントゲン撮影器をデジタル化することになりました。

デジタルレントゲンの導入は新しい機器になっても実際には患者さん側には具体的には認識されにくいものだと思います。

しかしながら、CT の方は今までの 4 倍以上の機能が搭載されていますので、たとえば肺の CT などを撮るときの呼吸停止の時間が短かったり、全体的に検査の時間が短縮されるので、従来の CT で検査を受けられた患者さんは今までの CT との違いを実感されると思います。

また、今回の CT では今までの CT の数倍も精密な画像が見れますので診断能力が向上します。必要があれば、骨の 3 次元の映像（立体映像）もパソコン上で作ることができます。

他にも肥満の診断として腹部の一枚のスライス（写真）で内臓脂肪をより正確に計算することができ、メタボリックシンドロームの診断、指導に威力を発揮すると思います。

いずれにしても真誠会セントラルクリニックの診断能力の向上が皆様の医療へさらなる貢献になることと思います。



新しい CT 機器で  
スムーズに検査を  
受けることが  
できます！







## 大正琴演奏会

通所リハビリテーションゆうとぴあでは、春、夏、秋、冬の年4回、安来市の大塚交流センター大正琴教室の方によるボランティアで「大正琴演奏会」を行っています。

季節に合わせた曲や昔懐かしい唱歌、利用者の方からのリクエストなど演奏して頂き楽しい時間を過ごしています。

ボランティアの方々のご好意で挿絵の入った歌集を開催時毎にプレゼントを頂いています。大正琴の迫力ある音色に合わせ参加者全員が大合唱を行っています。歌によっては、昔を思い出し涙がこぼれる方などひとり一人が感動の時を過ごしています。皆様も是非、大正琴の音色で私達と一緒に合唱してみませんか。

次回は、5月中旬に予定しています。多くのご参加をお待ちしております。

大塚交流センター大正琴  
教室の皆様♪



## ひな祭りお茶会



ケアハウスリバーサイド(大崎)の1階ホールで、3月3日うれしい「ひな祭りお茶会」を催しました。前日から当日の昼にかけて、2階ラウンジの和室からおひなさん一家の引越しをしました。男性の入居者様は段の組み立て、高い段の内裏雛の飾りつけの担当。女性の入居者様は三人官女、右大臣、左大臣、五人囃子、仕丁さん、お道具の飾りつけを

「これはどこ、あれはあそこ」など、ワイワイガヤガヤと童心に返りそれはにぎやかに楽しく準備をしました。桃の花を生けてBGMは琴の春の調べを流し、雰囲気満点!

今年はボランティアで裏千家 佐藤 宗静先生に来ていただきました。雛人形や桃、桜の花の絵付けのお茶碗で更にムードが高まりました。本格的なお手前に入居の皆さん、職員はうっとりと思わず見とれてしまい、日々の喧騒はどこへやらでおしとやかで、静かなひと時を過ごしました。

また、カメラが趣味の男性の方が2階から望遠カメラで撮影される姿は、プロカメラマンのようでした。お手前そのものをわくわくしながら見て楽しんでいただき、「とてもおいしかったです。結構なお手前でした。」と満足そうでした。

いくつになっても女性にとってひな祭りは、最も心華やぐ年中行事の一つですが、男女を問わず入居者の皆さんみんなであれしい「ひな祭りお茶会」を楽しんでいただきました。

佐藤先生のたてて下さるお茶は  
心が癒されます♡



皆さんで雛壇の  
飾りつけをしました♪



矢倉ご夫妻です。いつも  
ありがとうございます♪

## 三味線ボランティア



平成21年3月より、弓浜デイサービスには月2回三味線ボランティア(矢倉様ご夫妻)に来て頂いています。矢倉様ご夫妻は「三味線と歌を聞いて、おじいちゃん、おばあちゃんも一緒になって唄ってもらえたら…。それで少しでも楽しんでもらったり、元気になってもらいたい!」との思いでボランティアに来て

下さいました。1年継続して下さった現在、ご利用者からは「一緒に歌えて楽しいですわ」「気分がすっとするわ」と喜びの声や、「三味線に合わせて安来節を唄えるようになりたい」と目標を持たれたり、中には伴奏に合わせて、番傘をもって踊られる方もおられます。

矢倉ご夫妻に来て頂き、ご利用者の生き活きとした表情で笑顔があふれています。

一緒に歌えて  
楽しいわあ~☆



医療福祉 ホスピタウンネットワーク



ホスピタウン

医療福祉のまち

米子ホスピタウン

- ・真誠会セントラルクリニック (医) 29-0099
  - ・透析施設 オアシス (医) 29-1997
  - ・通所リハビリテーション真誠会 (医) 24-6030
  - ・介護老人保健施設 ゆうとぴあ (医) 24-5666
  - ・短期入所療養介護 ゆうとぴあ (医) 24-5666
  - ・通所リハビリテーション ゆうとぴあ (医) 24-5666
  - ・訪問看護ステーションネットケア (医) 24-6777
  - ・居宅介護支援事業所真誠会 (医) 48-0300
  - ・脳活性クラブ米子真誠会 (医) 24-5984  
(童謡の里 オルゴール館)
  - ・介護予防センター真誠会 (医) 29-0077
- ホスピタウングループ本部 〒683-0852 米子市河崎581-3 TEL 24-5666



ホスピタウン

健診センター

TEL48-0009



ホスピタウン

真誠会ローズガーデン

米子市富士見町6番6 TEL30-2288



ホスピタウン

いえはら歯科

9:00~12:30/2:30~6:30 TEL29-6599



ホスピタウン

辻田耳鼻咽喉科

9:00~12:30/2:30~6:00 TEL29-1187



ホスピタウン

保健福祉のまち

弓浜ホスピタウン

- ・介護老人福祉施設 ピースポート (社) 48-2332
  - ・短期入所生活介護 ピースポート (社) 48-2332
  - ・介護老人保健施設 弓浜ゆうとぴあ (医) 48-2334
  - ・短期入所療養介護 弓浜ゆうとぴあ (医) 48-2334
  - ・通所リハビリテーション 弓浜ゆうとぴあ (医) 48-2334
  - ・通所介護 弓浜ゆうとぴあ (社) 48-2337
  - ・通所介護 弓浜ゆうとぴあ (認知症対応型) (社) 48-2337  
(ふくろうの里)
  - ・認知症専門通所介護 弓浜脳活性クラブ (医) 48-2339  
(若竹庵)
  - ・訪問介護 弓浜真誠会 (社) 48-2336
  - ・米子市弓浜地域包括支援センター 48-2330
  - ・ケアプランセンター 弓浜真誠会 (社) 48-2335
  - ・ケアハウス リバーサイド (社) 48-2630
- 〒683-0104 米子市大崎1511番地1 TEL48-2331(代)



ホスピタウン

在宅福祉のまち

在宅福祉センター真誠会

- ・富益しあわせデイサービス米子真誠会 (社) 25-6811
  - ・富益しあわせ認知症デイサービス米子真誠会 (社) 25-6811  
(ダンスダンス)
  - ・グループホーム青松庵 (社) 25-6813
- 〒683-0103 米子市富益町235番地8 TEL25-6811(代)



ホスピタウン

助け合いのまち

小規模多機能センター 真誠会ふる里

〒683-0102 米子市和田町1722番地 TEL 25-1112

